

事業番号	11 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水害に強い地域づくり事業	部局	建設部	課・室	河川課				
		実施期間	S58 ~	E-mail	kasen @ pref.nagano.lg.jp				

### 1 現状と課題

近年、頻発する豪雨により毎年水害が発生する一方で、河川整備率が40%未満で横ばい状態である。水害に備えるため計画的なハード・ソフト対策を実施する必要がある。

### 2 事業目的

水害を未然に防ぐとともに、水害が起こった際に被害を最小限に抑えるため、計画的な対策等を進め、地域防災力の向上を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①河川改修により水害リスクを低減

- ・緊急治水対策プロジェクトや流域治水プロジェクトに位置付けられた、水害リスクの高い河川の河川改修を実施
- ・内水氾濫を防止するため排水機場等の整備を実施

#### ②水害に備える取組を推進

- ・ハザードマップ作成に必要な中小河川における浸水想定区域図の作成

#### ③ダム機能の維持を推進

- ・老朽化したダムの管理設備の更新及び改良を実施
- ・ダムの貯水池機能を回復する堆積土除去等を実施



(一)千曲川

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	水害リスクの高い河川の改修実施延長（累計）	km	3.6	5.2	↗	6.0	↗	7.0	未達成	令和元年東日本台風による被害等、主に過去10年間程度に大きな浸水被害のあった河川に対して、河川改修等のハード対策の推進により発現される事業効果について設定している。R5年度は7.0kmを目標とする。	
②	中小河川の浸水想定区域図作成河川数（累計）	河川	196	319	↗	396	↗	369	達成	長野県流域治水推進計画に位置付けられたソフト対策であり、中小河川を対象にR5年度は50河川作成する。	
③	ダム施設の改修完了数（累計）	ダム	2	3	↗	7	↗	2	達成	ダム制御処理設備の老朽化が著しいダムについて、R5年度は1ダムの更新及び改良を目標とする。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進	河川改修による水害リスク低減家屋数	戸	2021 (R3)	2,650	2022 (R4)	3,608	2023 (R5)	4,151	2027 (R9)	6,340

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R5年度	19,480,305	10,190,552	10,354,512	40,025,369	2,089,980	23,267,228	108.7
R4年度	16,098,178	11,876,351	11,990,377	39,964,906	3,557,026	20,411,302	111.8
R3年度	20,660,086	11,787,215	9,187,514	41,634,815	2,984,596	25,528,438	95.0

事業番号	11 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	水害に強い地域づくり事業		部局	建設部	課・室	河川課

## 7 主な取組実績と成果

### ①河川改修により水害リスクを低減

- ・緊急治水対策プロジェクトや流域治水プロジェクトに位置付けられた、水害リスクの高い河川の河川改修を進めるため、令和5年度は北沢川（佐久穂町）等において河道拡幅等を実施した。
- ・浸水対策として排水機場の整備を進めており、浅川（長野市）において、令和5年度は基礎工等を整備した。
- ・緊急自然災害防止対策事業債を活用し、令和5年度は、谷川（佐久市）等において護岸工等を整備した。
- ・県内河川164河川において河川改修を実施した。



(一)浅川



(一)黒沢川



(一)高瀬川

### ②水害に備える取組を推進

- ・水防法改正により中小河川においても、ハザードマップ作成に必要な浸水想定区域図の作成を行い、令和5年度は77河川において作成した。

### ③ダム機能の維持を推進

- ・ダム長寿命化計画に基づき水上ダムほか11ダムにおいて、ダム管理用制御処理設備等の大規模改修工事を実施し、ダム管理体制の強化を図った。松川ダムでは、貯水池内の堆積土砂約10万m<sup>3</sup>を掘削・搬出し、治水機能の維持を図った。

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	水害リスクの高い河川の改修実施延長（累計）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
河川改修等のハード対策について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し事業の進捗を図ったが、地元調整や関係機関との協議に不測の日数を要したため、目標が未達成となった。							
指標②	中小河川の浸水想定区域図作成河川数（累計）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
浸水想定区域図について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し事業を実施したことで、目標の河川数を作成することができた。							
指標③	ダム施設の改修完了数（累計）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
ダム施設の改修について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し事業を実施したことで、想定以上の施設改修を実施することができた。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・河川改修等のハード・ソフト対策の推進について、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し、過去に浸水被害のあった河川の改修や、浸水想定区域図の作成等により、被害の防止・軽減を図る必要がある。
- ・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組について、令和6年度までに完了を目指しており、事業実施中である10箇所について進捗を図っていく必要がある。
- ・ダム施設の更新・機能回復について、引き続き防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算を活用し、長寿命化計画に基づいた必要な対策を集中的・計画的に実施する必要がある。各ダムの長寿命化計画策定から年月が経過しており、計画とダム現状に乖離が見られるため各ダムにおいて長寿命化計画の見直しを行う必要がある。

### (2) 事業改善の方策

- ・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの取組について、ロードマップに基づき進捗管理を行い、計画的に事業を実施するとともに、河川改修等のハード・ソフト対策の推進について、水害リスクの高い河川の改修を実施していく。市町村が作成するハザードマップに必要な中小河川における浸水想定区域図の作成を引き続き進める。
- ・ダム施設の更新・機能回復について、各ダムにおいて必要な対策を計画的に実施するとともに、長寿命化計画の見直しを行い、事業を推進していく。

事業名	<b>水害に強い地域づくり事業</b>	部局	建設部	課・室	河川課
-----	---------------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>1</b>	<b>河川改修事業費</b>		14,362,257 千円	9,411,654 千円	12,623,111 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	河川改修事業	直接	過去に浸水被害があった河川において水害を未然に防ぐため、護岸工、測量設計、用地補償等を実施。中小河川において、浸水想定区域図の作成を実施 実施個所 千曲川（飯山市等）以下17か所		
2	浸水対策重点地域緊急事業	直接	床上浸水被害が生じた地域において、重点的に河川改修や排水機場の整備を実施 実施個所 浅川（長野市）		
3	広域連携事業	直接	広域にわたる人や物の流れを活発にするため、民間活動に合わせて道路・河川の整備を実施 実施個所 新川（諏訪市）以下2か所		
4	大規模特定河川事業	直接	集中的な投資が必要な排水機場の整備や橋梁の改築等を実施 実施個所 黒沢川（安曇野市）以下6か所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>2</b>	<b>再度災害防止のための改良復旧工事</b>		2,521,930 千円	2,989,177 千円	2,305,216 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	河川災害復旧助成事業	直接	被災した河川施設について、災害復旧事業（原形復旧）のみでは再度災害防止が図れない箇所に対し、災害復旧事業費に改良費を加えて築堤・護岸工等を実施。 実施個所 滑津川（佐久市）以下5か所		
2	河川等災害関連事業	直接	被災した公共土木施設について、災害復旧事業（原形復旧）のみでは再度災害防止が図れない箇所に対し、災害復旧事業費に改良費を加えて護岸工等を実施 実施個所 南沢（佐久市）以下3か所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>3</b>	<b>県単河川改修維持費</b>		6,294,783 千円	5,061,088 千円	4,198,276 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県単河川改修費	直接	水害を未然に防ぐため、護岸工、測量設計、用地補償等を実施 実施個所 田子川（佐久市）以下42か所		
2	県単河川維持費	直接	河川設備の適正な管理のため、修繕及び洪水流下の支障となる堆積土除去等を実施 実施個所 県内一円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	ダム建設費		2,349,468 千円	2,949,383 千円	4,140,625 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	堰堤改良事業	直接	県管理ダムにおいてダム管理用制御処理設備の改良を実施 実施個所 金原ダム（東御市）以下12か所		
2	ダム建設事業	直接	県管理ダムにおける堆砂対策のための調査・測量設計、堆積土除去等を実施 実施個所 裾花ダム・奥裾花ダム（長野市）、松川ダム（飯田市）		